

V-601GⅡ 取扱説明書

—— 据置型自動真空包装機 ——

ご使用の前に必ず取扱説明書を読んで、
正しく作業してください。
お読みになった後は必ず保存してください。

はじめに

このたびは東静電気の自動真空包装機V-601G IIをお買上げいただきまして、まことにありがとうございました。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。

目 次

安全上のご注意	2
1. ご使用になる前に	4
1-1 付属品の一覧	4
1-2 設置時のご注意	5
1-3 使用上のご注意	6
1-4 各部の名称	7
2. 操作前の準備	8
2-1 ポンプオイル注油	8
2-2 真空引きの確認	8
3. 操作のしかた	9
3-1 操作手順	9
3-2 ガスボンベの接続方法	12
3-3 真空計(ゲージ)	12
3-4 その他スイッチ類の働き	13
4. 各部の点検およびメンテナンスについて	14
4-1 定期点検	14
4-2 オイル交換方法	15
4-3 エクゾーストフィルター交換方法	16
5. その他の調整・修理について	17
5-1 ヒーターおよび絶縁布の交換方法	17
5-2 サーマルリレーのリセット方法	18
6. 困ったとき	19
6-1 トラブル表示と対策	19
7. 仕様	21
8. アフターサービスについて	21

安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお守りください

- ご使用の前に、この取扱説明書「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、本機所定の場所に、大切に保存してください。
- この取扱説明書「安全上のご注意」に書かれている内容は、お客様が購入された製品の仕様には含まれない項目も記載されています。

お買い上げいただいた、製品(本機)および取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示を無視し、誤った取り扱いをして危険を回避できなかった場合死亡、重傷、焼損を負う可能性が想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

《免責事項について》

- ・地震、雷、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害(事業利益の中断による損失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。



警告

この機械は、食品又は金属部品を真空包装する機械です。それ以外の包装には使用しないでください。



警告

機械内部のメンテナンスをする場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、元電源を切ってから作業をしてください。
感電する恐れがあります。



警告

機械を掃除する場合は、水洗いはしないでください。水洗いをする
と漏電し、火災、感電の恐れがあります。



警告

包装した品物を取り出す時は、蓋が完全に上ったことを確認してか
ら取り出してください。
蓋が落下した時に手、指を挟むことがあります危険です。



警告

パネルを外したまま運転をしないでください。
ケガの原因になります。



警告

本機は、ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に設置
しないでください。機械が振動し、故障の原因となります。



注意

真空ポンプのオイル量は、オイルレベルゲージのMAXとMIN
の間になるようにしてください。オイル量は、多くても少なくても
ポンプ破損の原因となります。



注意

本機を長時間連続して使用した直後のオイル交換はおやめくださ
い。ポンプ・オイルが高温になり、火傷する恐れがあります。



注意

シールヒート台には、直接手で触れないでください。高温部で火傷
する恐れがあります。



注意

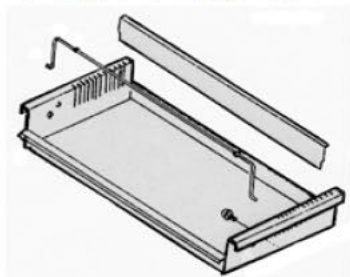
ヒートシール時に定格消費電力5.7kW必要ですので『AC200V, 4P,
30A専用コンセント』を使用してください。
アース配線工事は第三種接地工事を必ず実施してください。

1. ご使用になる前に

1-1 付属品の一覧

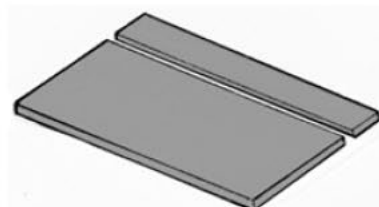
本機には、次のような付属品があります。ご使用の前に確認してください。

- シール台(トレイ式)…1



- スペーサー…1

- スペーサー(B)…1

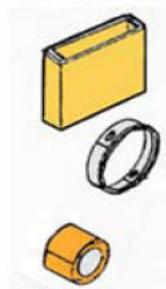


- 真空ポンプオイル…2

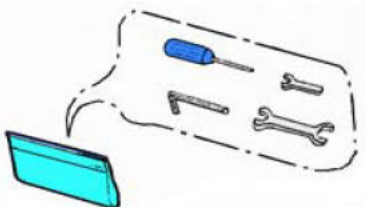


- ヒーター線…1

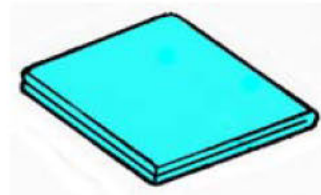
- 絶縁布…1



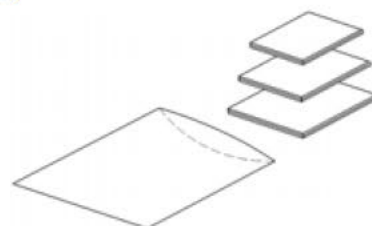
- 工具袋一式…1



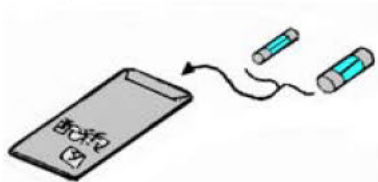
- ダストカバー…1



- サンプル袋
(3種類)



- 配線図…1
- ガラス管ヒューズ(20A)…1
- ガラス管ヒューズ(3A)…1



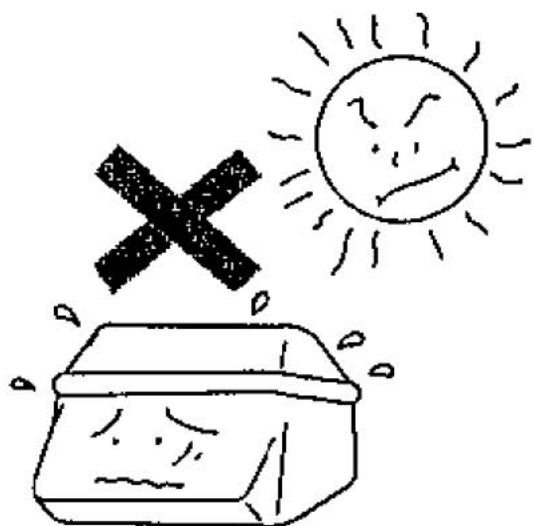
- 取扱説明書…1



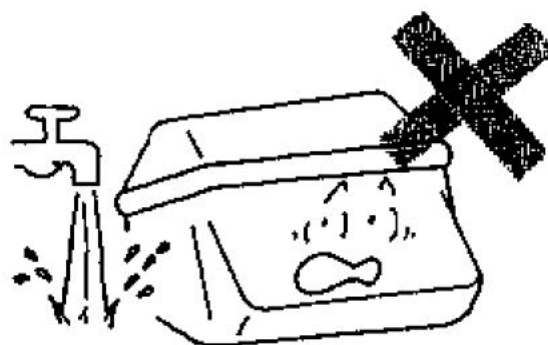
1-2 設置時のご注意

次のような場所は安全上、また機械の故障の原因となりますので、避けて設置してください。

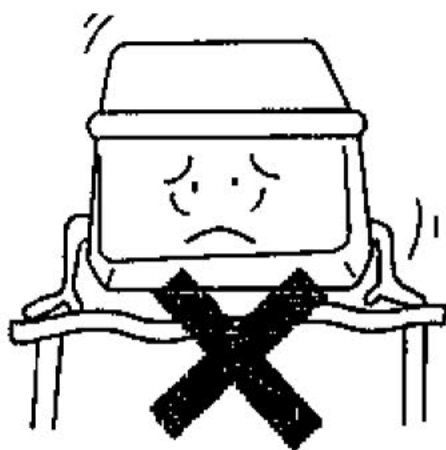
● 高温・多湿な場所



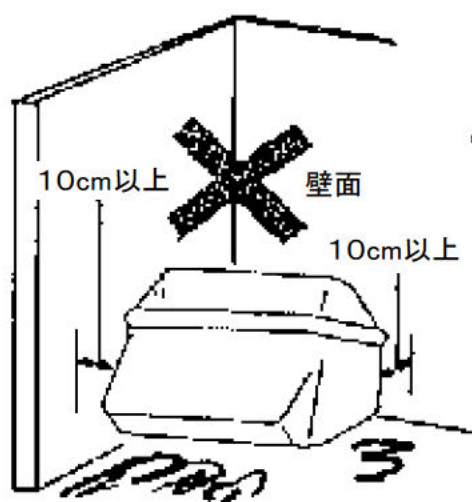
● 水などが飛び散り、漏電を起こす危険性のある場所



● 床が丈夫でなく、水平でない場所



● 本機械は、アッパーチャンバーの開閉及び放熱効果のために、周囲(壁面など)より10cm以上離して設置してください。

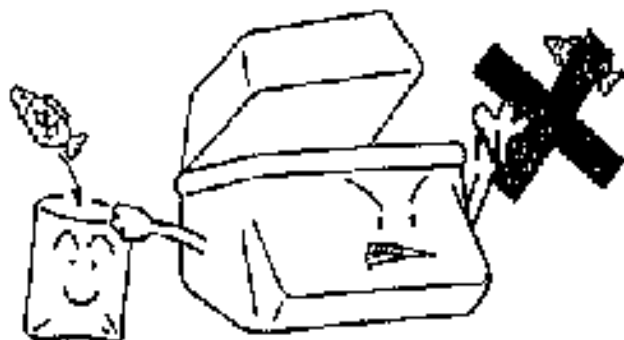


1-3 使用上のご注意

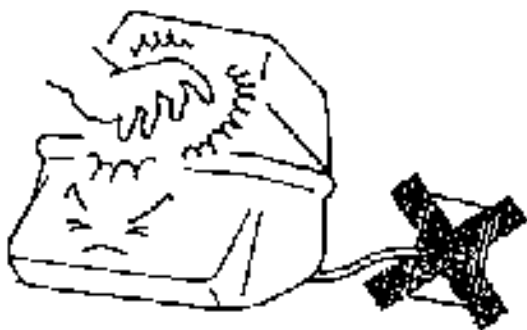
- 真空ポンプの保護上、次のことは必ず守ってください。
- 熱い食品は冷やしてからパックしてください。(10℃以下)
- 指定オイルの定期交換。



- 包装袋は真空パック用のもの以外は使用しないでください。また、包装袋なしにそのままチャンバー内に物を入れたり、異物を入れたりしないでください。



- 機械内部を点検するときは必ず手元スイッチをコンセントから抜いてください。



- 本機械を掃除するときは、電源スイッチを切ってから、から拭きしてください。特に汚れのひどい場合は、ぬれ布きん等に中性洗剤をしみ込ませて拭き取ってください。



- 高い電圧の部分がありますので非常に危険です。

- 長い間ご使用にならないときは、新しいオイルに交換の上、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

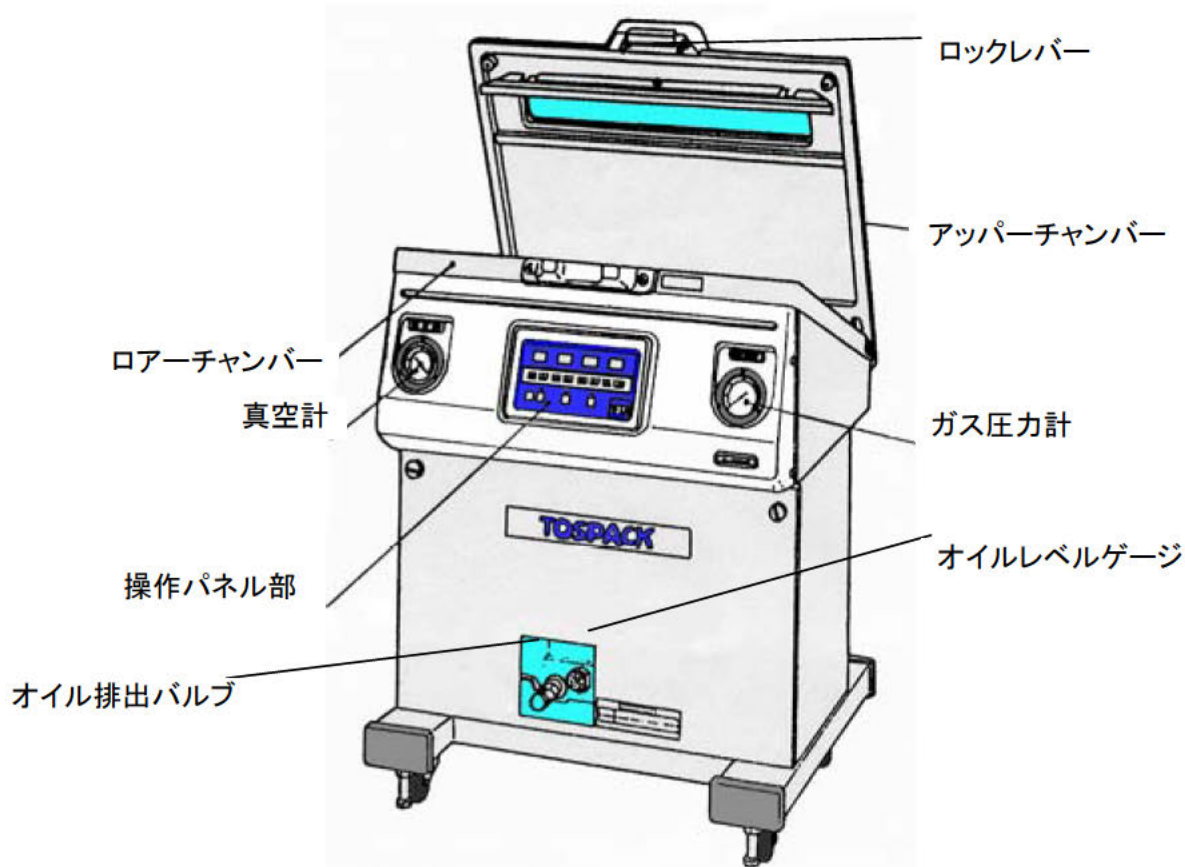


- 一週間以上使用しなかった時は、10分以上の暖気運転を行ってください。

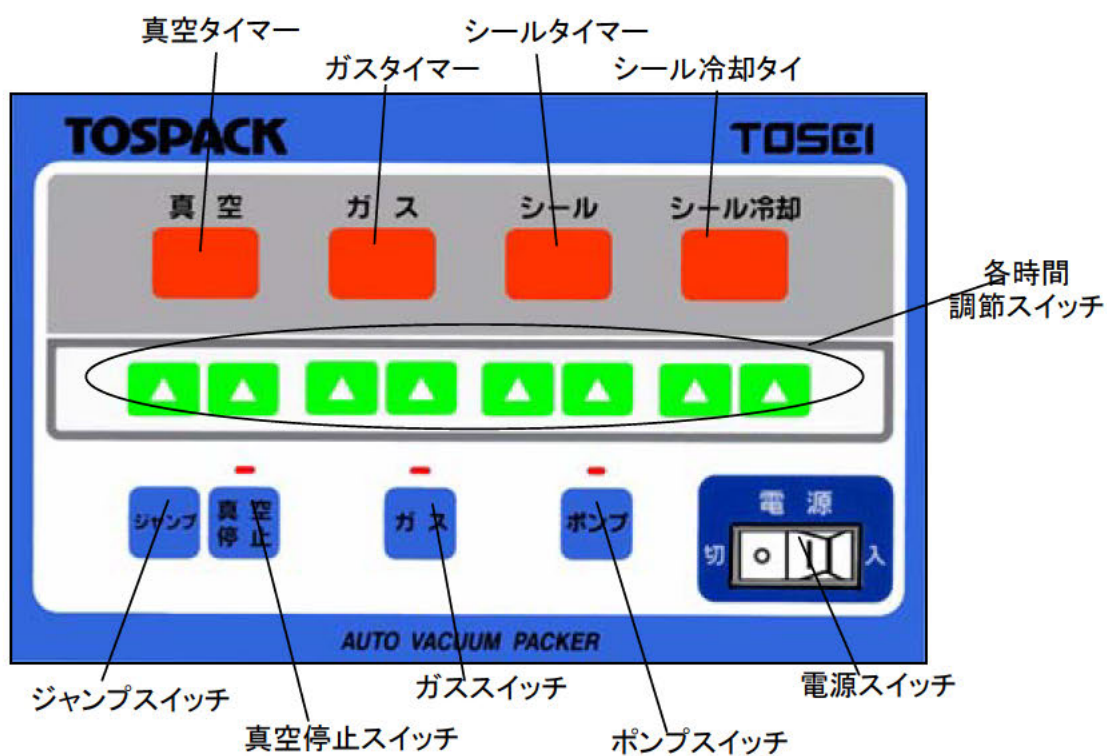
- 雷がなりはじめたら、早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災、感電の原因になることがあります。



1-4 各部の名称



操作パネル部



2. 操作前の準備

2-1 ポンプオイル注油

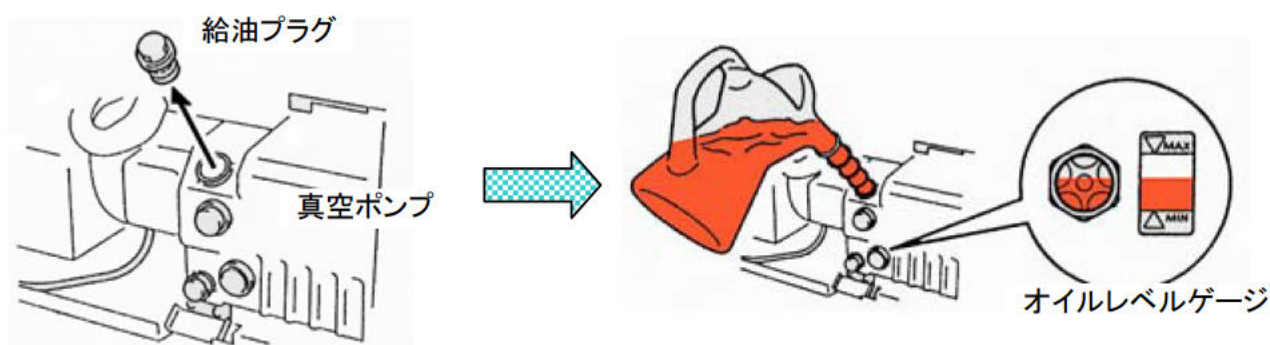
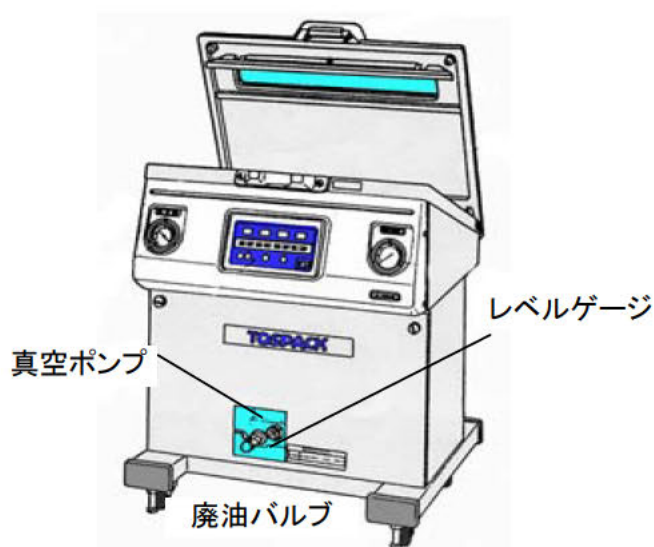
(1) 本機は、ポンプ保護の為に、オイルを注油しないで出荷しています。運転前に必ず付属のオイル「0.5L」を給油してください。

(2) 給油方法

機械前面のパネルをはずしオイル給油口よりオイルレベルゲージ中間位置まで指定オイルを注油します。

＜注 意＞

- 給油時にオイル給油口からゆっくりとオイルレベルゲージのオイル量を確認しながら充分注意の上、注油してください。
- オイル量は、少なくとも、多くても、ポンプ破損の原因となりますので、ご注意ください。



警告

オイル注油の時は元電源を切ってください。
「感電の恐れがあります」

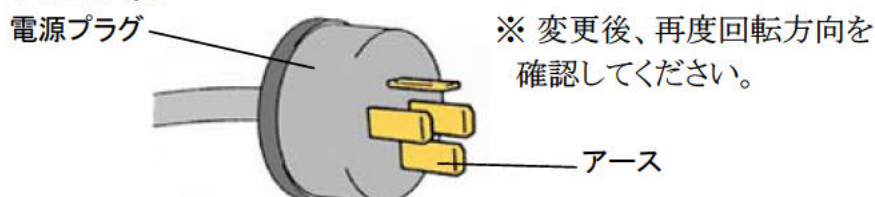
2-2 真空引きの確認(ポンプ回転方向)

※ 5分間以上の運転(逆回転)は避けてください。(電源スイッチOFFで停止します。)

(1) 電源を入れてアッパーチャンバーを閉め、真空引きするか真空計の確認をします。

(回転方向が正常でない場合、真空引きされず、アッパーチャンバーは開いてしまいます)

(2) 真空引きされない場合は、回転方向を変更します。(電源プラグのアース線を除く3本の端子のうち2本を入れ換えてください。)



注意

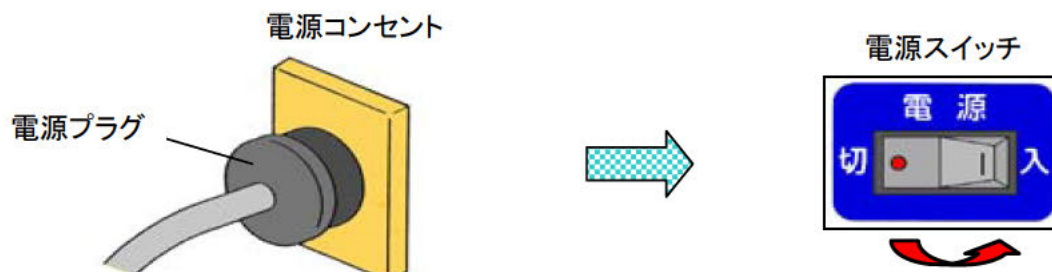
ポンプを逆転でのまま回すと、破損の原因になります。

3. 操作のしかた

3-1 操作手順

- 1 電源プラグがはずれていないか確認し、電源スイッチを入れます。

●電源スイッチを入るとランプが点灯します。



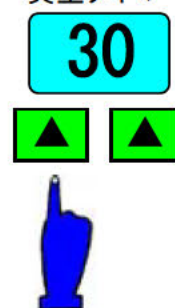
- 2 真空時間の設定－真空タイマーにより行います。

●真空タイマーの ・ キーで包装される品物に合わせ時間(0～99秒)を設定します。

設定の方法は、「真空タイマー」の右側 を押すと0～9秒までの設定ができ、左側 を押すと10～90秒の範囲で10秒単位の変更ができます。(通常は30～40秒に設定してください)

* ポンプの保護のために「5秒以上」の設定をしてください。

真空タイマー



- 3 シール時間の設定－シールタイマーにより行います。

●シールタイマーの ・ キーで包装袋の厚さに合わせ時間(0～4.9秒)を設定します。

設定の方法は、「シールタイマー」の右側 を押すと0～0.9秒までの設定ができ、左側 を押すと0～4秒までの設定ができます。

●包装袋の厚さによりシール時間が異なりますので、下記の時間を目安に調整してください。

(イ) 包装袋(厚さ60 μ m) シールタイマー設定時間 約1～1.2秒

(ロ) 包装袋(厚さ80～100 μ m) シールタイマー設定時間 約1.2～2秒

シールタイマー



- 4 冷却時間の設定－シール冷却タイマーにより行います。

●シール冷却タイマーの ・ キーで包装袋の厚さに合わせ、時間(0～9.9秒)を設定します。

設定の方法は、「シール冷却タイマー」の右側 を押すと0～0.9秒までの設定ができ、左側 を押すと0～9秒までの設定ができます。

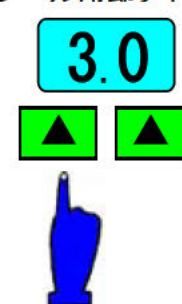
●包装袋の厚さによりシール冷却時間が異なります。

(イ) 薄手の包装袋の場合－シール冷却タイマー設定時間 約4秒

(ロ) 厚手の包装袋の場合－シール冷却タイマー設定時間 約5秒

※シール状態を確認しながら、設定してください。

シール冷却タイマー

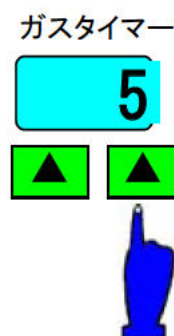


ガス封入のある場合

- 5 ガス封入の設定ーガススイッチにより行います。
 押した後、ランプが点灯していることを確認してください。
- ガススイッチのキーを押してください。
 押した後、ランプが点灯していることを確認してください。
- ※ 機械内蔵のレギュレーター2次圧がガス圧力計で0.2MPa
 (2.0kg/cm²)以上であることを確認してください。
 確認方法は、10ページ3-2「ガスボンベの接続方法」の
 項を参照してください。



- 6 ガス時間の設定ーガスタイマーにより行います。
- ガスタイマーの **ガス** キーで、下記表を参考にしてください。
 (0～99秒)
 設定の方法は、「ガスタイマー」の右側  を押すと0～9秒
 までの設定ができ、左側  を押すと10～90秒までの設定
 が10秒単位で出きます。
- ※ ガス充填後の真空度によりシール後の包装袋の膨らみに差が出ます。
 一度シール後の包装状態を見ながらタイマー設定を行ってください。
- ガス封入時間は、ガス圧力、包装物(包装袋)によって異なりますので、
 販売店にご相談ください。

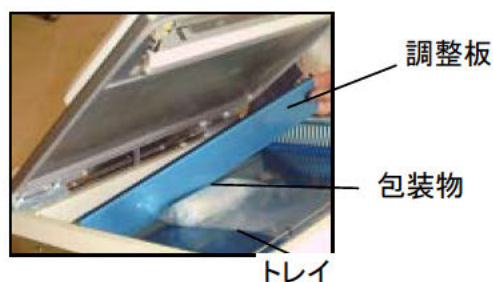


トレイの使用法

- ① トレイを機械にセットする。



- ② パックする物に合わせて調整板を
 セットします。



- ③ 真空袋(フィルム)をセットします。

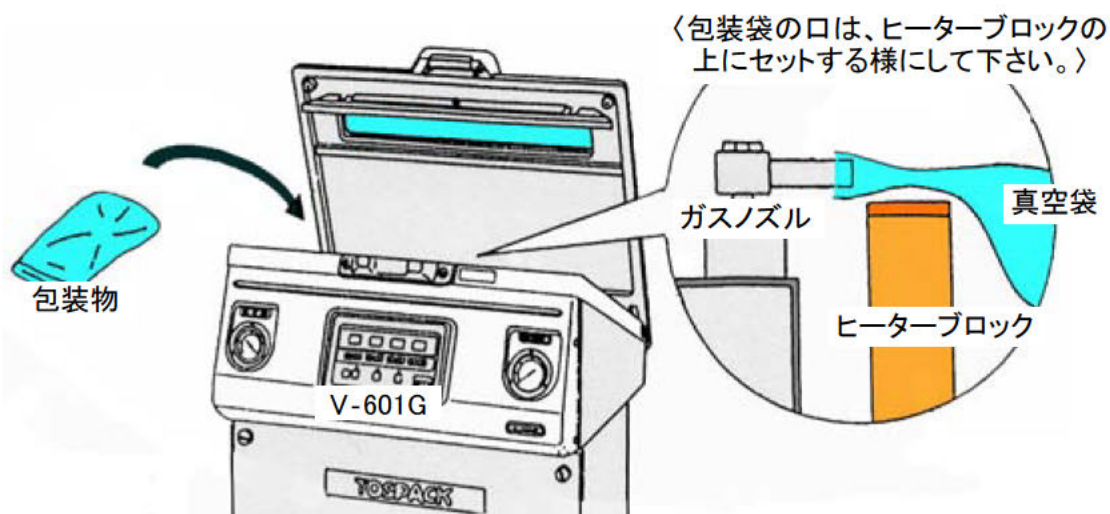


- ④ アッパーチャンバーを閉じます。
 アッパーチャンバー



7 包装物のセット

(1) 包装物をローチャンバーにセットします。



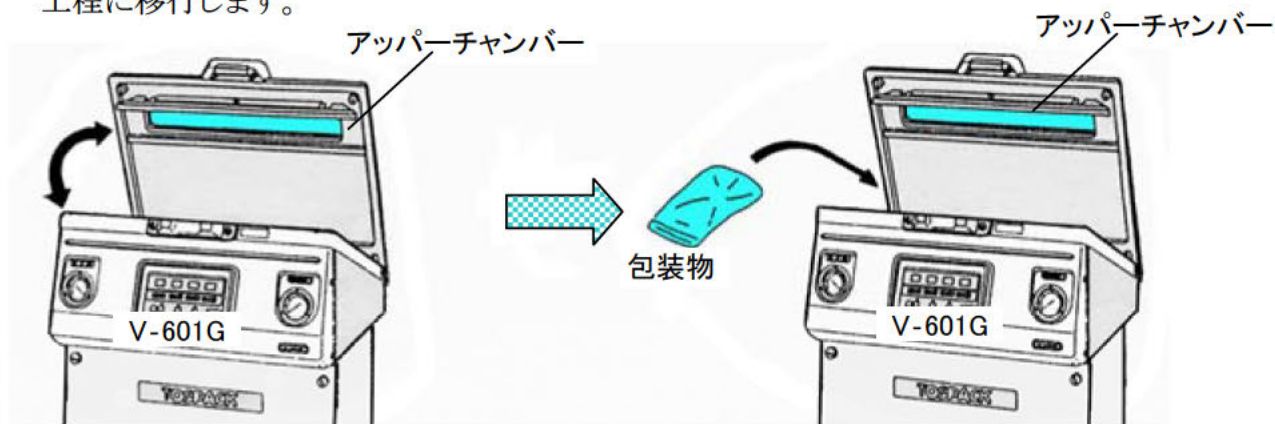
● ガス封入のある場合

(2) 包装口をガスノズルに差込みます。

※ 包装袋のシールされる部分に「しわ」等がないよう注意してセットしてください。

8 アッパーチャンバーを閉じます。

● アッパーチャンバーを閉じると真空引きが始まり、包装が開始され「ガス」「シール」工程に移行します。



● 包装が終了するとポンプが止まり、終了警報(ピッピッ)が鳴りますので、アッパーチャンバーのロックを解除して、包装袋を取出してください。

・同じ品物を包装する場合は(7)～(8)の繰り返しとなります。

・作業が終わりましたら操作プレートの「電源」スイッチを切ってください。

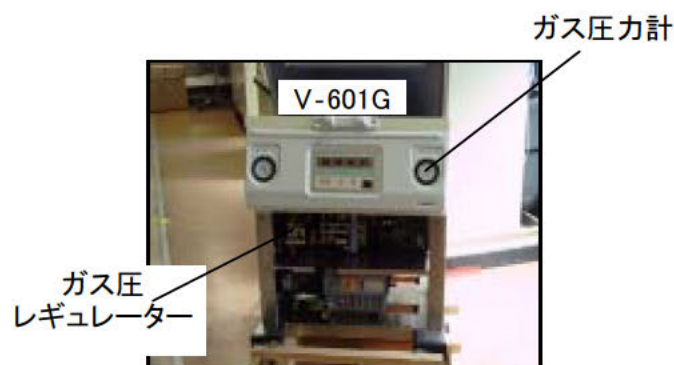
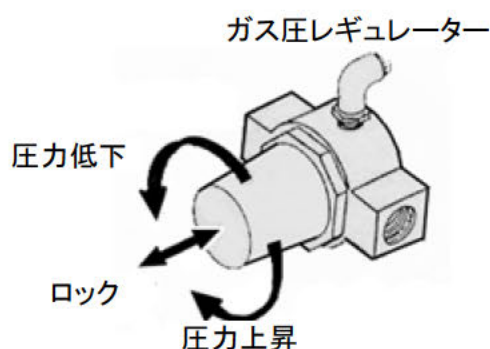
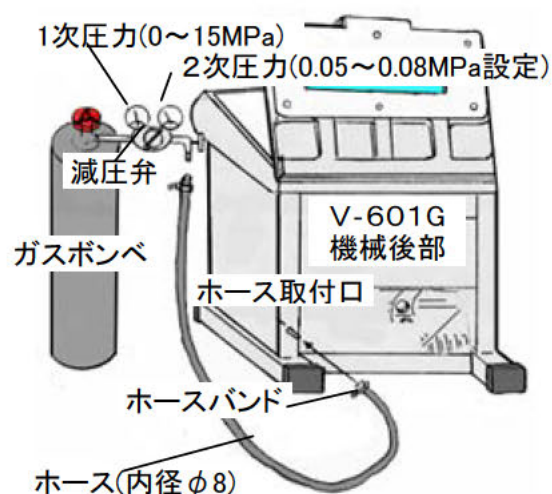
● 作業終了後はアッパーチャンバーを閉めておいてください。

・アッパーチャンバーを閉状態に固定しておくと、チャンバー内部にゴミ、ほこり等が入らず、衛生的でコンパクトに保管できます。

各工程の途中で包装を中止したい場合は、電源スイッチを切ってください。

3-2 ガスポンベの接続方法

1. ガスポンベの接続は、ガス販売店に相談してください。(ホースの接続場所は、左図参照)
2. 前面パネルを取外します。
3. レギュレーターのカムを引っ張り、ロックを解除します。
4. カムを回して、ガス圧力の調整をしてください。
調整方法は、カムを右側(時計方向)に回すと圧力は上昇し、左に回すと圧力は低下します。
5. 調整後、カムを押してロックをしてください。
(機械出荷時は、0.2MPa(2kg/cm²)に設定してあります。)

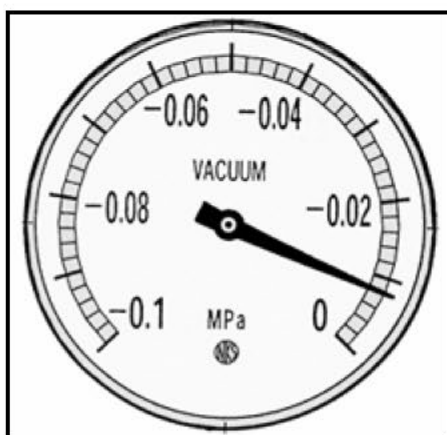


警告

前面のパネルを取外すときには、必ず電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。
「感電する恐れがあります」

3-3 真空計(ゲージ)

真空計(ゲージ)



※ご注意

標高の高い場所(気圧の低い所)でご使用の場合、真空計が「-0.1MPa」まで達しない場合がありますが、真空計の故障ではありません。

操作パネルに真空計が設置してあります。

目盛は「0～-0.1MPa」まで表示されており、「-0.1MPa」側に指針が動き出すと、チャンバー内部の気圧が大気圧に対して、減ってきている事を示しています。

(大気圧が「0.1MPa」の時、指針が「-0.1MPa」に達すると内部はほぼ0.気圧で真空になっている事を示します。)

3-4 その他スイッチ類の働き

- 「ジャンプ」スイッチー真空工程中にこのスイッチを押すと、次工程に移行します。

水分を含む物を包装する場合、真空工程中にその水分が沸騰したり、漏れたりする可能性があります。

これを防ぐ為、アッパーチャンバーの窓から包装物を監視しながらジャンプスイッチで次工程へ移行することができます。

※ 水分の流出を防ぐことにより、ポンプオイルの劣化を妨げます。



- 「真空停止」スイッチー真空工程中にこのスイッチを押すと、真空状態を保ちます。

包装物の真空状態を確認したいとき、又はメンテナンス時に使用し、真空停止スイッチでチャンバー内を真空に保ちます。

※ 真空停止中、時間が経過すると、真空度は少しずつ低下していきます。

・ 真空停止後、再度このスイッチを押すと再度真空引きを行います。



- ポンプスイッチ 真空ポンプの暖気運転用スイッチです。



- ガスホールドタイマーーガス封入時にチャンバー内のガス圧力を均一にします。

ガスパックの際、ガス工程とシール工程の間にガスホールド時間を入れることにより、チャンバー内のガス圧力を均一にし、ガス封入量のバラツキを少なくします。



* ガスホールドタイマー設定方法

- 1) ガススイッチをONにします。
- 2) 真空停止スイッチを押しながら、ガススイッチを再度押すと、ガスタイマーの表示部がガスホールドタイマーの設定時間に切り替わります。
- 3) ガスタイマーの ・ スwitchで時間(0~9.9秒)を設定してください。

右側の を押すと0~0.9秒まで設定でき、左側のを押すと、0~9秒までの設定ができます。

※ 機械出荷時には、ガスホールドタイマーは4.0秒に設定されています。



ガスタイマー

4.0



4. 各部の点検およびメンテナンス

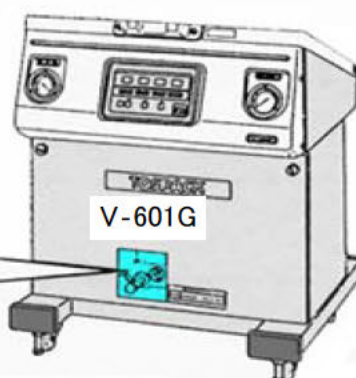
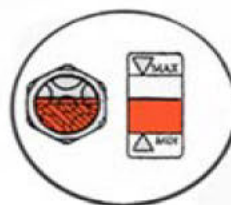
4-1 定期点検

機械をいつまでも快適にご使用いただくために、以下の点検およびメンテナンスを必ず実施してください。

項 目	期 間	左記の期間は、通常の使用状態の場合です。水分を多く含む包装の場合は、オイル劣化の進みが速いので早めの交換をお勧めします。
オイルレベル汚れの確認	毎日	
オイル交換	500時間(2～3ヶ月)	
交換オイル量のめやす	約500cc	
エキゾーストフィルター交換	3,000時間(15ヶ月)	

オイルレベルゲージの見かた

オイル量がMAXとMINの間にあることを確認してください。



- オイルレベルが低かったり、汚れたりしている場合は、ただちに補充または交換をしてください。

※必ず、「トスパック純正オイル」をご使用ください。

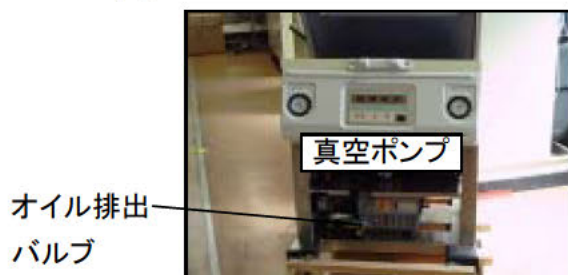
(販売代理店または弊社で販売しております)

※自動車用エンジンオイルは、絶対使用しないでください。

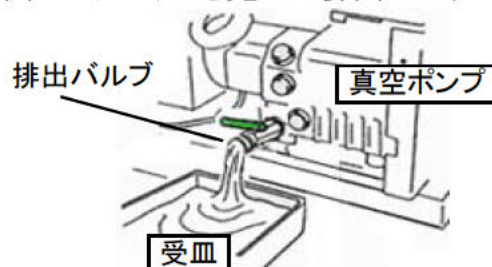
4-2 オイル交換方法

- オイルの交換目安は500時間もしくは2～3ヶ月ですが、水分混入等の使用状況に異なりますので、早めの交換をしてください。

- 1 機械前面パネルを外すとポンプがあります。



- 2 オイル排出バルブを開き、ポンプ正面の排出口よりオイルを完全に排出してください。



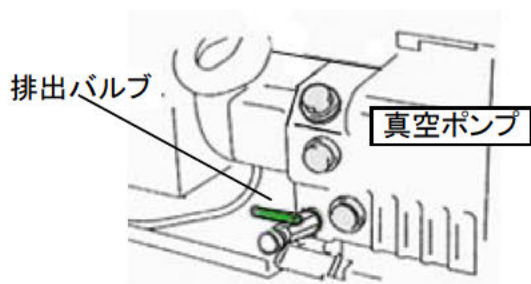
(オイルは受皿等にて受けてください。)



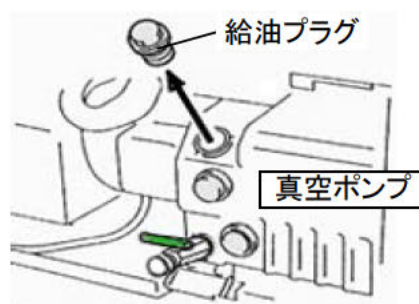
警告

前面のパネルを取外すときには、必ず電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。
「感電する恐れがあります」

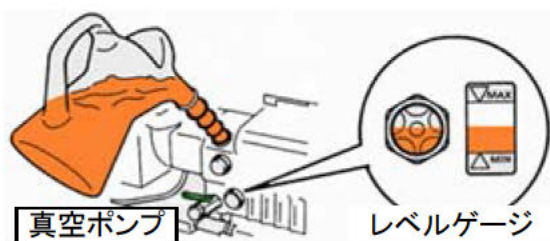
- 3 オイルが完全に排出しましたら 排出口バルブを閉じてください。



- 4 オイル給油プラグを外します。



- 5 新しいオイルを、レベルゲージのMAX=MINの間になるようにゆっくり給油してください。



- 6 特にオイルが汚れている場合、フラッシングを行ってください。

- ① フラッシングは、オイル給油後、給油口のプラグを確実に締め、10分～15分「ポンプスイッチ」にてポンプの暖気運転を行います。
- ② 再度汚れたオイルを排出してください。
- ③ 新しいオイルを再度オイルゲージのオイル量を確認しながら注油してください。

- 給油時は、ゆっくりとオイルゲージのオイル量を確認しながら充分注意の上注油してください。



注意

真空ポンプのオイルの量は、オイルレベルゲージのMAXとMINの間になるようにしてください。オイル量は、多くても少なくてもポンプ破損の原因となります。

- 7 給油口のプラグを確実に締め、パネルを取付けてください。

4-3 エクゾーストフィルター交換方法

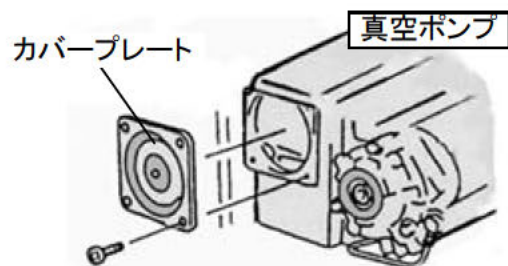
● エクゾーストフィルターの交換目安は3000時間(15ヶ月)ですが、使用状況により異なります。下記のような症状の場合、エクゾーストフィルターを交換してください。

- ① ポンプカバープレート部より、煙状の物(オイルの飛散)が出るようになった場合。
- ② 真空計のเกจで真空度が上がらない場合。(真空時間が長くなった。)

- 1 機械前面パネルを外すとポンプがあり、エクゾーストフィルターは右側部より取外します。



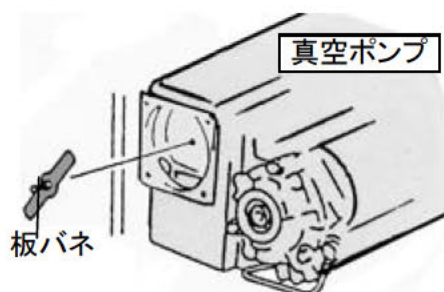
- 2 ポンプのカバープレートの六角ボルト4本を外し、カバープレートを取外します。



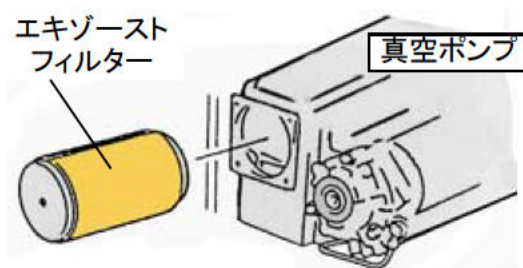
警告

エクゾーストフィルターの交換は、必ず電源を切って行ってください。
「感電の恐れがあります」

- 3 固定板バネ中央のーネジをゆるめ、固定板を取り外します。



- 4 エクゾーストフィルターを細いドライバー等で取り出します。



- 5 新しい「エクゾーストフィルター」をセットします。
*エクゾーストフィルターに付いている「Oリング」がしっかり奥に入るようセットしてください。



Oリングは確実に
取付して下さい。

- 6 交換後は今までとの逆の手順で組み立ててください。

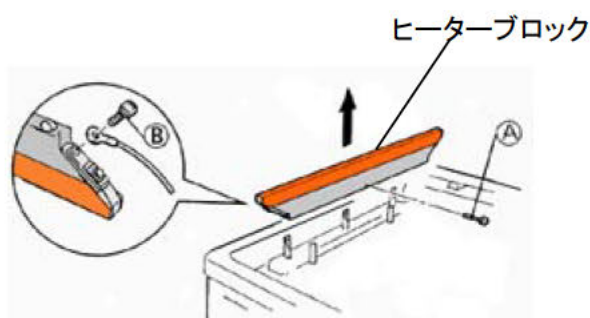
5. その他の調整・修理について

5-1 ヒーターおよび絶縁布の交換方法

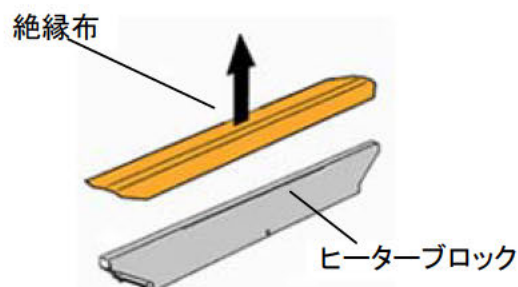
*ヒーターが切れたり破損などが生じた場合には、新しいヒーターと交換してください。

ヒーター及び絶縁布の交換は、必ず電源を切って行ってください。
「感電の恐れがあります」

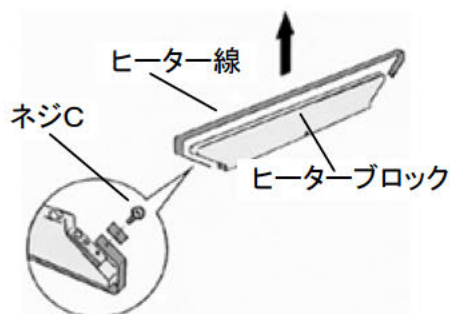
- 1 ネジ(A)を外してヒーターブロックを引上げて、両端のネジ B を外します。



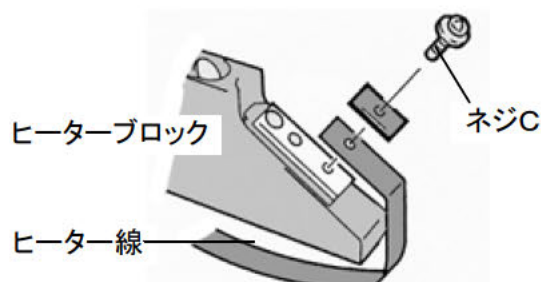
- 2 絶縁布をヒーターブロックから丁寧に剥がします。ヒーターブロックに付着した汚れは、アルコール等で拭取ってください。



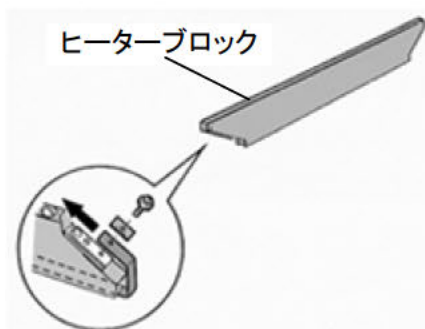
- 3 ヒーターブロック両端のヒーター押え板のネジ(C)を外し、ヒーター線を外します。



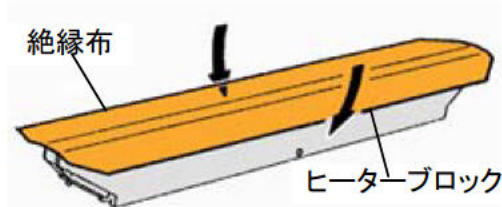
- 4 新しいヒーターの片側をアルミブロックとヒーター押え板の間に挟み、ネジ(C)で固定します。



- 5 ヒーターのもう一方側をプライヤー等で強めに引き、アルミブロックとヒーター押え板の間に挟み、ネジ C で固定します。



- 6 絶縁布を「しわ」にならないようにヒーターブロックに貼付け、ヒーターブロックを元の位置に取付けます。



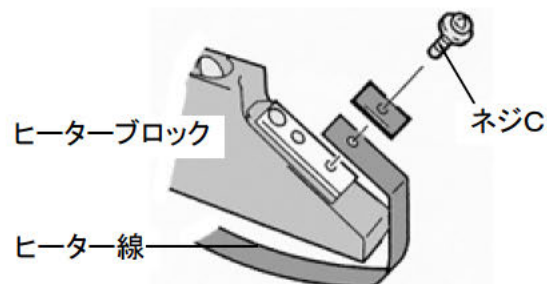
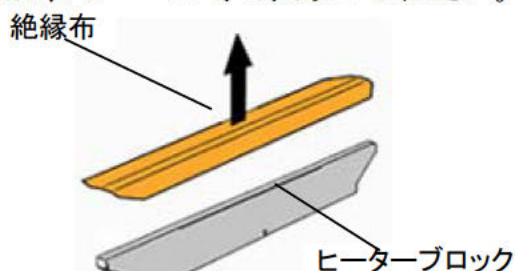
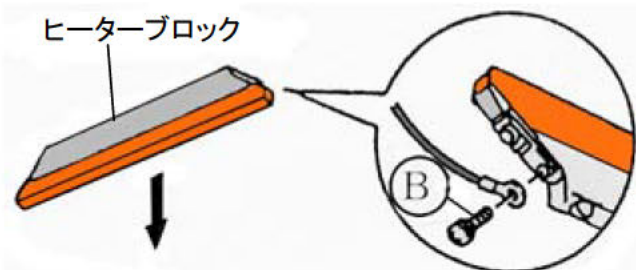
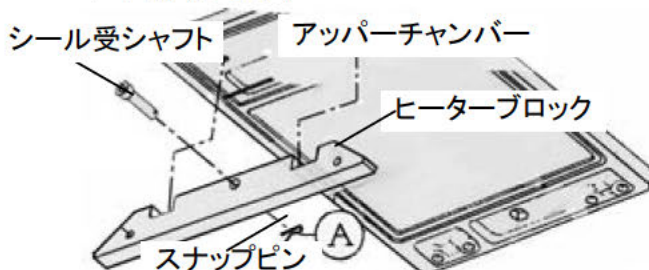
※ 絶縁布に「しわ」があると完全なシールができません。＜きれいに貼り付けてください＞

※使用中に絶縁布が破損を生じた場合は、1～6 の手順に従って貼り替えてください。
破損したままで使用すると、包装袋に過剰な熱を加え、包装袋破損の原因となります。

「2」アッパーチャンバー(上側)のヒーター、絶縁布の交換

＊ヒーターが切れたり破損などが生じた場合には、新しいヒーターと交換してください。

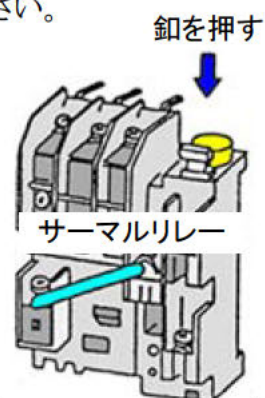
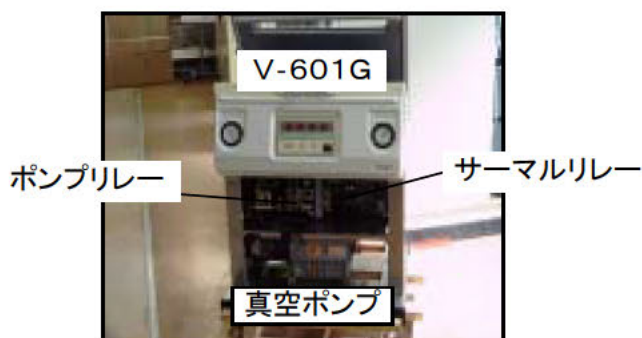
- 1 アッパーチャンバーよりヒーターブロックのスナップピン(A)を外しシール受シャフトを外します。
- 2 アッパーチャンバーからヒーターブロックを引下げて、両端のネジ(B)を外します。
- 3 絶縁布をヒーターブロックから丁寧に剥がします。ヒーターブロックに付着した汚れは、アルコール等で拭取ってください。
- 4 ヒーターブロック両端のヒーター押え板のネジ(C)を外し、ヒーターを外します。



●以下前項同様にヒーター線、絶縁布を交換してください。

5-2 サーマルリレーのリセット方法

- サーマルリレーがトリップしてポンプが回転しない時は、電源プラグを抜き、ローレットツマミ(2ヶ)を外し、サーマルリレーの釦を指で軽く押してリセットしてください。リセット後は、フロントパネルを閉じて電源プラグを入れてください。



フロントパネルを外す時は、必ず電源を切ってください。
「感電の恐れがあります」

※ サーマルリレーは保護継電器で電磁開閉器(リレー)に組み込まれた、モーターの過負荷拘束による焼損保護用です。過電流が生じた場合モーター回路を遮断(トリップ)しモーターを停止させるリレーです。

6. 困ったとき

ご使用中に異常が生じたときは、次の点を調べてください。
万一本機の機能が回復しない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

6-1 トラブル表示と対策

No	症 状	原 因	確 認 項 目 と 対 策
1	本体の電源を「ON」しても表示をしない。	1. 電源が入っていない。	①本体以外の電源スイッチを確認。 ②電源コンセントの電圧を確認。
		2. 電源コンセントが抜けている。	①電源コンセントを差し込んでください。
		3. ヒューズ切れ。	①本機のヒューズを交換してください。
2	電源を入れて表示はするが動かない。	1. 元電源が単相になっている。	①三相200V機の場合は元電源のヒューズが1本熔断していませんか。
		2. ポンプ「サーマル」がトリップしている。	①取扱説明書「サーマルリレーのリセット方法」を参照しリレーをリセットしてください。
		3. アッパーチャンバー用リミットスイッチの位置ズレ。	①駆動用リミットスイッチの取付位置を調整してください。
3	真空ポンプは回転しているが、真空にならない。真空度が低い。	1. アッパーチャンバーの密閉不良。	①アッパーチャンバーのパッキンが破損していませんか。 ツブレ・破損部があったらパッキンを交換してください。
		2. 真空ポンプが逆転している。 (3相200V機の場合のみ)	①3相のうち2相を入替えてください。 取扱説明書「真空引きの確認」参照してください。
		3. 真空ポンプのオイルが減っている。	①真空ポンプのオイルレベルゲージを確認して少ない場合は、所定位置までオイルを追加してください。
		4. 真空ポンプのオイルが汚れている。	①取扱説明書「オイル交換のしかた」を参照しオイル交換をしてください。
		5. 真空ポンプが壊れている。	①最寄りの販売店又は、弊社営業部へ連絡してください。
4	シールをしない。	1. ヒーター線が断線している。	①取扱説明書「ヒーター線及び絶縁布の交換方法」を参照してヒーター線を交換してください。
		2. ヒーターブロックが動かない。	①チャンバー内のヒーターブロックが手で上下に動くか確認してください。 動かない場合は、液汁等の「こびり付き」を除去する等の処置をして上下に動くようにしてください。

No	症 状	原 因	確 認 項 目 と 対 策
5	シール不良。 (完全でない)	1. シールタイマーの設定不良	①シールタイマーの設定時間を変えてみてください。
		2. 包装袋の材質・厚さが適正でない。	①包装袋の材質・厚さを適正な包装袋に交換してください。
		3. 絶縁布・シールゴムの汚れ。	①絶縁布又は、シールゴムが汚れていませんか。汚れている場合は汚れを拭きとってください。
		4. シールゴムの破損。	①シールゴムを交換してください。
6	真空ポンプ部から オイル(オイルミスト)が 漏れる。	1. エクゾーストフィルターが詰っている。	①取扱説明書「エクゾーストフィルター交換」参照しフィルターを交換をしてください。 ※輸送時等本体を傾けると、試運転時排気口からオイルが出ることがありますが、しばらく運転する内に止ります。
7	真空開放しない。 真空開放が遅い。	1. スローリーク用の真空開放バルブが閉まっている。	①「真空開放バルブ」を適正な位置まで開けてください。
		2. シール時間が長すぎる。	①シール時間は適正ですか。包装袋の材質・厚さを考慮したシール時間に設定し直してください。
		3. サイレンサーの目詰まり。	①真空破壊弁についている「サイレンサー」を交換してください。
		4. アップパーチャンバーの開閉スプリングの緩み。	①開閉スプリングの張り調整をしてください。
		5. 真空破壊バルブの作動不良。	①バルブの交換。 ②制御基板の交換。 ※①・②は販売店又は、弊社営業部へ連絡してください。
8	置換ガスが充填されない。 充填量がすくない。	1. ガススイッチが「ON」していない。	①操作盤の「ガススイッチ」をONしてください。
		2. ガスがきていない。	①ガスボンベの元栓は開いていますか 閉まっている場合は元栓を開いてください。 ②圧力調整・設定値を確認してください。
		3. 包装袋の設定不良。	①包装袋は正しくセットされていますか。 ガスノズルに包装袋の開口部を入れてください。

7. 仕 様

No.	項 目	単 位	V-601G II
1	本体寸法 W×D×H	mm	668×635×914
2	チャンバー内寸法 W×D×H	mm	622×440×100
3	最大袋寸法	mm	600×430
4	シール有効長さ	mm	600
5	接着部使用温度	℃	180
6	電 源	—	3φ AC200V 50/60Hz
7	電動機容量	kW	0.75
8	定格消費電力	kW	5.7
9	真空ポンプ排気速度	L/min	333.3
10	重 量	kg	125
11	ガス封入装置	—	標準装備

ガスホースは内径φ8をご使用ください。

(包装仕様に応じたガスポンペを準備してください。)

※本機の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更することがあります
のでご了承ください。

8. アフターサービスについて

ご使用中に異常が生じたときは、使用をやめ電源プラグを抜いてお買上げの販売
代理店にご相談ください。

尚、その際に真空包装機の形式名、製造No.、およびお買上げ時期をお知らせください。

販売店名：

TEL: () — 購入年月日： 年 月 日

TOSCI 東 静 電 気 株 式 会 社

本 社 ・ 工 場 ●〒410-2325 静岡県伊豆の国市中島 244 0558(76)2270(代)
営業本部・東京支社 ●〒110-0014 東京都台東区北上野2-6-4(上野竹内ビル7F) 03(5828)6751(代)
名古屋 支 店 ●〒465-0035 愛知県名古屋市名東区豊ガ丘58 052(772)3988(代)
大 阪 支 店 ●〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3丁目17番10号 06(6338)9601(代)
九 州 支 店 ●〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-11-33 092(482)6613(代)